



いばらき県議会だより

No.230

〈県議会HP〉
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>
 本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

〈いばキラTV〉
<https://ibakira.tv>
 本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

〈県議会公式X〉
<https://x.com/ibarakigikai>

〈県公式LINE〉
<https://lin.ee/6xV7ZIQ>

発行：茨城県議会
 編集：県議会情報委員会
 〒310-8555 水戸市笠原町978番6
 Tel.029-301-5646 [年4回発行]
 ※音声版・点字版の県議会だよりも作成しています



令和6年第4回定例会の様子



茨城県議会議事堂

迎春 2025年



魅力ある人づくりを推進、 県全体の発展に邁進

茨城県議会議長 西野 一

新年明けましておめでとうございます。昨年12月の第4回定例会におきまして、第117代議長に就任いたしました。職責の重大さに引き締まる思いであります。

コロナ禍の苦難の3年間を乗り越え、社会経済活動は活性化いたしました。一方、長引く円安や物価高騰が県民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしており、物価上昇を繰り返す賃金上昇を実現し、成長と分配の好循環が確実に回ることが重要であります。

また、近年、激甚化・頻発化する豪雨などの自然災害への対応能力の向上を図るとともに、全国屈指の農業県として、食料の安定供給を担う本県農業を持続的に発展させていく

ことが必要であります。さらに、保健・医療・介護提供体制の充実や少子化対策の取り組みなど、県民が健康で安心して暮らせる県づくりを進めるとともに、探究活動やライフスキル教育の推進など、魅力ある人づくりを進め、茨城の将来を担う人材の育成を図ることも重要であります。

私は議長として、今まで以上に県民一人一人の声を真摯に受け止め、地域の声を県政に反映し、県全体の発展につなげられるよう、公正、円滑な議会運営に努めてまいります。

県民の皆さまにおかれましては、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

正副議長就任あいさつ

県民誰もが安心安全に暮らせる社会の実現に向けて、全てに一生懸命に



茨城県議会副議長 戸井田 和之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。先の第4回定例会におきまして、第118代副議長に就任いたしました。職責の重大さを改めて感じているところでございます。

人口減少時代の中で、地域の活力をさらに高めていくためには、子どもを産みやすい環境をつくることも、交流人口の拡大や定住の促進を図っていく必要があります。とりわけ、県内外を結ぶ広域交通ネットワークを構築するとともに、本県の豊かな風土や農産物、古き良き文化や伝統を後世へとつなぐ祭りなどの地域資源を生かし、魅力ある観光地域づくりを推進していくことが重要であります。

一方、県民誰もが安心安全に暮らせる社会

を実現するためには、医療や福祉、治安、防災など、県民の命と財産を守る生活基盤を築いていくことが必要であります。防犯や通学路の安全確保などを強化し、犯罪や交通事故の起きにくい社会づくりを進めるとともに、近年の気候変動により頻発化・激甚化する台風やゲリラ豪雨などの災害から、県民の生活を守るため、道路の補修や河川改修などにも全力で取り組んでいかなければなりません。

県議会においては、一人一人の声を県政に反映できるよう、西野議長を補佐し、公正、円滑な議会運営に努めてまいり所存でございますので、県民の皆さまには、なお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

第4回定例会の概要

令和6年第4回定例会は、11月29日から12月16日までの18日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、私学助成の充実強化等に関する意見書、公共交通及び物流に関する対策の充実・強化を求める意見書、知事から、令和6年度茨城県一般会計補正予算、茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例などが提出されました。

一般質問は、県北地域における定住人口及び交流人口の拡大、看護職員の確保、不妊治療における助成事業から医療保険適用への移行の検証や今後の取組、児童虐待への対応、命を守るための医師の地域偏在の解消などの項目について行われました。(2～3面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、ハラスメントによるメンタルヘルスの相談体制、産業技術専門学院再編後の地域の人材育成機能の確保、臓器移植を所管する組織の在り方などが議論されました。(4面)

決算特別委員会では、閉会中の審査を経て、開会日に委員長報告が行われました。(7面)

交通政策・物流問題調査特別委員会では、これまでの調査・検討を踏まえ、調査結果の報告が行われました。(8面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、認定、報告、意見書、請願などの42件の議案などが可決、同意、認定、承認、採択されました。

第4回定例会の主な日程

令和6年第4回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

11月29日(金)	本会	議
(開会、知事提出議案説明)		
12月4日(水)	本会	議
5日(木)	本会	議
6日(金)	(一般質問・質疑)	
12月10日(火)	常任委員会	
12月12日(木)	交通政策・物流問題調査特別委員会	
12月16日(月)	本会	議
(委員長報告、採決、閉会)		

一般質問(要旨)

● 質問者

12月4日(水) 黒部 博英 議員 (いばらき自民党)

秋 嘉一 議員 (無所属)

小泉 周司 議員 (いばらき自民党)

12月5日(木) 小松崎 敏紀 議員 (いばらき自民党)

設楽 詠美子 議員 (立憲いばらき)

磯崎 達也 議員 (いばらき自民党)

12月6日(金) 金子 晃久 議員 (いばらき自民党)

瀬谷 幸伸 議員 (いばらき自民党)

鈴木 将 議員 (いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧になれます。▶ https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=170

県北地域における定住人口及び交流人口の拡大

議員 県北地域は、人口減少・高齢化が他の地域に先駆けて進行している。将来を見据えた定住人口や交流人口の拡大について、県はどう取り組んでいくのか。

知事 地域特性を生かした産業の振興とともに、起業・複業型地域おこし協力隊の誘致や、常陸国ロングトレイル、御前山ダムなどの地域資源を活用した誘客促進の取り組みを通じて、地域の活力を創出し、市町なども連携しながら、定住人口・交流人口の拡大を図る。



黒部 博英 議員
いばらき自民党
常陸大宮市選出

水郡線の活性化

議員 全線開通90周年を迎えた水郡線であるが、利用者は減少傾向にある。県北地域の重要な交通インフラである水郡線の存続に向けた利用促進の取り組みは、政策企画部長 定期券利用者が割引を受けられる店舗の拡大やパークアンドライドの推進、観光資源など沿線の魅力を生かし、通勤客や観光客の利用拡大を図っていく。また、沿線地域のマイルール意識の醸成にも取り組んでいく。

(ほかに、ゴルフツアーなどの推進、空き家対策なども質問)



水郡線全線開通90周年記念セレモニー



秋 嘉一 議員
無所属
神栖市選出

看護職員の確保

議員 多様化する看護ニーズなどに対応するため、看護職員の確保が必要と考える。さらなる対策は、保健医療部長 県立中央看護専門学校看護学科を2026年度から県内初の4年制に移行し、教育内容の充実を図っていく。また、診療報酬上乘せや賃上げ税制の活用などにより、処遇改善に努めるよう医療機関に働き掛けていくほか、病院内保育所の運営費補助や定着促進コーディネートターの派遣により環境の整備を促進していく。

部活動の地域移行

議員 地域移行に関する地域からの不安の声に耳を傾け、支援や助言をお願いしたい。今後の対応は、教育長 具体的な事例を各市町村に共有することで課題に対応していく。また、県に配置する総括コーディネーターを中心とした市町村訪問により、情報交換や助言などの支援を行い、県が設置した地域移行推進会議で検証し、具体的な成果や課題を令和7年2月のシンポジウムで情報発信していく。

(ほかに、建設業の担い手確保・育成、施設園芸農家への支援策なども質問)



県立中央看護専門学校(笠間市)



小松崎 敏紀 議員
いばらき自民党
鹿嶋市選出

児童虐待への対応

議員 辛く苦しい思いをしている子どもたちが一刻も早く、一人でも多く救われることを願ってやまない。虐待の通報に対して、より迅速に対応するための方策は、福祉部長 全国に先駆けて警察と全ての虐待情報を共有する体制を整えたほか、児童相談所の組織体制の見直しや専門職員の増員など、子どもの安全を迅速に確保するための体制強化を図ってきた。また、虐待事案発生時は、関係機関との緊密な連携により対応している。

産業技術専門学院の在り方

議員 「県立産業技術専門学院のあり方検討会」の検討結果を受けて、県は5学院の今後の方向性をどう考えているのか。

産業戦略部長 同検討会から、職者や女性など入学ターゲットの拡大、在職者訓練の拡充などの機能強化の方向性や、2学院体制への再編の必要性について提言があった。今後、提言の内容を踏まえ、関係者と丁寧に協議を重ねながら方針を決定していきたい。

(ほかに、救急搬送時間の改善、工業高校の今後の展望なども質問)



土浦産業技術専門学院での実習風景



小泉 周司 議員
いばらき自民党
那珂市選出

不妊治療における助成事業から医療保険適用への移行の検証や今後の取組

議員 不妊治療への支援が従来の助成事業から保険適用へ移行されたことにより、新たに自己負担を強いられる方がいる。この方への助成事業をどう進めるのか。

福祉部長 国の会議で、従来の助成事業は自己負担をなくすことではなく、高額な治療費の軽減を図ることを目的として実施してきた経緯などが議論された上で、保険適用が開始された。今後、保険適用範囲の拡大などについて、引き続き国に強く要望をしていく。



不妊治療の相談

県管理道路における除草の課題と今後の新たな取組

議員 近年、県民からの問い合わせが多く、十分な道路除草ができているが、新たな取り組みは、土木部長 防草シートなどによる除草面積の縮減のほか、住民協働の維持管理として住民参加型の活動の啓発や道路ボランティア団体の増加に努める。また、現場状況に応じた新工法を選定し、その有効性や経済性を検証の上、省力化施工機械や新技術の活用を図る。

(ほかに、県植物園等のリニューアルの詳細、公立学校教員の人材確保に向けた取組なども質問)



設楽 詠美子 議員
立憲いばらき
西筑市選出

命を守るための医師の地域偏在の解消

議員 医師の地域偏在をどのようにして解消しようとしているのか。

知事 地域枠などの修学資金貸与制度により、医師不足地域で勤務する医師を養成している。今年度の地域枠の定員は全国トップクラスの11大学70名であり、来年度の入学者からは医師不足地域での義務履行を臨床研修後に限定した。また、救急や小児などの政策医療の提供体制が維持されるよう、各地域の中核的な役割を担う医療機関の医師確保に取り組んでいる。

議員 一人一人のキャリア教育や夢を実現するための県独自の奨学金などの支援制度を積極的に実施する必要があると考えるが所見は、

知事 小学校からキャリア教育を行い、高校ではインターンシップやアントレプレナーシップ*育成事業なども実施し、さらに独自の貸与型奨学金制度を用意するなど子どもたちの夢の実現を支援していく。

(ほかに、多様な学びの場、居場所の確保、オーガニック学校給食を実現するための有機栽培農業者の育成なども質問)



医師の地域偏在の状況
赤: 医師多数区域 青: 医師少数区域

一般質問(要旨)



磯崎 達也 議員
いばらき自民党
ひたちなか市選出

自動車(アクセルとブレーキの踏み間違いによる交通事故防止)をゼロにするための、安全運転サポート車(サポカー)の普及を促すことについて

議員 高齢運転者のアクセルとブレーキの踏み間違いによる交通事故をゼロに近づけるため、自動安全装置を装着した車両(サポカー)の普及啓発にどう取り組むのか。

警察本部長 過去5年の高齢運転者による交通事故の要因は運転操作ミスが最も多く、75歳以上では約33%を占める。このため、自動車販売団体の協力を得て高齢運転者にサポカーへの切り替えを呼び掛けるなど、高齢運転者の事故防止や被害軽減を図っていく。



金子 晃久 議員
いばらき自民党
常総市・八千代町選出

持続可能な消防団の在り方

議員 消防団員が消火の技術を競う操法大会については、発展的な見直しを検討できる余地も大きいと感じている。時代に即した持続可能な消防団の在り方を、目指し、どのように取り組んでいくのか。

防災・危機管理部長 団員の負担軽減を図り、より実践的な操法技術を習得できる、時代に即した操法大会となるよう取り組んでいく。また、団員が活動しやすい環境整備に取り組みとともに、県民の消防団に対する理解を深めていく。

議員 「ほしいも」と言えば茨城」という差別化のため、「常陸国ほしいも」という命名も検討の上、ブランド化推進にどう取り組むのか。

「常陸国ほしいも」と命名しての本県産ほしいも認知度向上戦略とブランド化の推進

議員 「ほしいも」と言えば茨城」という差別化のため、「常陸国ほしいも」という命名も検討の上、ブランド化推進にどう取り組むのか。

農林水産部長 県ほしいもトップブランド化評価委員会※1で定めた品質基準を生産者に周知し、基準を満たす製品を認定の上、PRするほか、全国ほしいもグランプリを初開催するなど、ほしいもの日も王国いばらき※2のPRに努める。

(ほかに、健康長寿日本一を目指す条列の取り組みなど) 踏み間違い サポカー普及で 防ごうよ



踏み間違い サポカー普及で 防ごうよ

教育現場における児童生徒の安全確保

議員 大人が責任を持って、不審者による学校への侵入などから子どもたちを守り抜くため、教育現場における児童生徒の安全確保にどのように取り組んでいくのか。

教育長 県内の優良事例を全校で実践できるように、さらまたの効果的な使い方や事前に確認すべき緊急通報体制、児童生徒の避難方法などを資料にまとめて各学校に配布し、効果的な訓練や校内研修を実施するよう強く働き掛けていく。

(ほかに、野犬対策、闇パイトによる犯罪への対応なども質問)



操法大会の様子



瀬谷 幸伸 議員
いばらき自民党
日立市選出

「儲かる工業」に向けた企業支援

議員 茨城県版「儲かる工業」を提案する。その実現に向けた県北地域のものづくり企業に対する県の支援は、

産業戦略部長 「売れる商品」開発に向け専門家による伴走支援を実施している。また、販路拡大に向け受発注マッチング支援やいばらき中小企業グローバル推進機構と連携した海外展開支援などを行っている。今後も県北地域のものづくり企業の成長を後押しし、「儲かる工業」実現に向け取り組む。

日立市における小児科医確保の方針

議員 日立市の深刻な小児科医不足の現状に対する取り組みは、保健医療部長 患者数の急速な減少により小児科医確保はますます困難となる見込みである。引き続き地域枠などの修学資金貸与制度や医療機能の集約化、医療機関の役割分担の明確化に取り組むとともに、日立市などと連携し夜間オンライン診療導入の検討を進め、小児医療提供体制を確保していく。

(ほかに、次世代未来都市実現に向けた共創プロジェクトに対する県の関わり方なども質問)



タイ展示会での商談の様子



鈴木 将 議員
いばらき自民党
つくば市選出

カーボンニュートラルの実現に向けた産業分野における取組の推進

議員 本県CO2排出量の約6割を占める産業分野での取組を加速する必要があるが、カーボンニュートラル産業拠点創出に向けて、今後どう取り組んでいくのか。

知事 200億円の基金など県独自の支援とともに、国の支援も最大限に活用しながら、民間企業の取り組みを強力に後押しし、将来にわたって本県産業の基盤となる水素などのクリーンエネルギー拠点を茨城港および鹿島港に構築すべく、全力で取り組んでいく。

一人当たり県民所得伸長の要因分析と政策立案への活用

議員 2021年度の一人当たり県民所得が全国第3位となった要因をどう分析し、今後の政策立案にどう活用していくのか。

政策企画部長 各地域の特性を生かした産業振興や戦略的な企業誘致などが成果に結び付いた。名目総生産は製造業と建設業で大きく伸長した一方で、伸び悩んだ分野もあった。分析結果など客観的な証拠を政策立案に活用していく。

(ほかに、国土強靱化をはじめとするインフラの整備推進、子どもの読書活動の推進なども質問)



クリーンエネルギー拠点の構築を目指す鹿島臨海工業地帯

今定例会で可決された議案など

議員など提出

◆意見書

- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 公共交通及び物流に関する対策の充実・強化を求める意見書

知事提出

◆令和6年度補正予算関係

- 一般会計補正予算(2件)
- 特別会計補正予算
- 企業会計補正予算(6件)

◆条例の一部改正

- 茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 茨城県土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例
- 茨城県地域医療医師修学資金貸与条例の一部を改正する条例
- 生活保護法等に基づき保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◆人事

- 監査委員の選任について

◆認定

- 令和5年度茨城県公営企業会計決算の認定について
- 令和5年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について

◆報告

- 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

◆その他

- 令和5年度茨城県公営企業会計に係る利益の処分について
- 当せん金付証券の発売について
- 県有財産の売却処分について(茨城中央工業団地(1期地区)事業用地)

請願

- 令和7年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願

※意見書および請願の全文は議会ホームページでご覧いただけます。
https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/yayori/yayori202501_pdf/ikenryo.htm



ことば ※1【ほしいもトップブランド化評価委員会】…生産者やバイヤー、有識者などを構成員とし、本県のおいしいほしいもの品質基準や、販売・PRについて検討するために県が設置した委員会。
※2【ほしいもの日】…令和6年1月に、1月10日を「ほしいもの日」として制定。①ほしいもの旬の時期であることに加え、②「干す」という漢字が「一」と「十」の組み合わせであること、③かんしょを熟成させて甘味を増させる糖化(とうか)の製造工程などが、日付選定の由来。

常任委員会の審査から

総務企画委員会

ハラスメントによるメンタルヘルスの相談体制は、**県庁内外に相談窓口を設置し、相談体制の充実を図っている**

問 県職員が働きやすい職場を目指すことが重要だが、ハラスメントによるメンタルヘルスの相談体制は。

答 県庁内部に相談員を置き、ハラスメントによるメンタルヘルスの相談に応じている。11月には、カウンセラーや弁護士的外部相談窓口を設置し、相談体制を充実させた。相談窓口の追加など、今後も相談しやすい体制を目指していく。

問 いばらき幸福度指標は、どう政策に生かしているのか。

答 本県の全国的な位置や各分野の強みと弱みの客観的な把握に活用している。例えば、指標を活用した課題分析により、自動車盗の認知件数の減少につながった。今後も、関係部局と情報を共有しながら指標を活用していく。
(ほかに、水郡線全線開通90周年イベントの実施状況、シン・いばらきメシ総選挙の今後の展開なども質問)



解体された盗難自動車

営業戦略農林水産委員会

国際ビジネス推進のねらいは、**外資系企業からの投資を促進し、イノベーションによる経済活性化を図る**

問 国際ビジネスの推進について、中国で茨城県対日投資セミナーや精密加工技術フォーラムを開催した狙いは。

答 人口減少により国内経済が縮小する中、中国企業を含む外資系企業から県内への投資の促進を図るものである。県内企業とのマッチングを通じて、イノベーション創出による経済活性化を図っていく。

問 県食と農を守るための条例第23条の地域内の農業者・消費者の循環型ネットワークづくりはどう取り組むのか。

答 農業は食料供給だけでなく、多面的機能も有するため、農業の大切さを消費者に理解



フォーラムにおける県内企業と中国企業との面談

土木企業立地推進委員会

企業誘致セミナーでのゆとりある雰囲気づくりに向けた取り組みは、**県内の豊富な食材の活用など工夫していく**

問 海外のPRイベントでは、くつろぎながら商談できるスペースを設けている事例がある。本県の企業誘致セミナーでも特産品のPRを兼ねた、ゆとりある雰囲気づくりが必要と考えるが、所見は。

答 県内の豊富な食材の活用や商談スペースの設置など工夫しながら取り組んでいく。

問 那珂川の支川である西田川の沿川は、令和元年東日本台風などにより甚大な浸水被害を受けた。西田川の今後の整備スケジュールは。

答 現在、基本設計を行っており、令和7年度に詳細設計に着手する。この詳細設計が



西田川における調節池検討箇所(水戸市)

防災環境産業委員会

産業技術専門学院再編後の地域の人材育成機能の確保策は、**他の訓練機関などとの連携を検討していく**

問 産業技術専門学院再編後、地域における人材育成機能をどのように確保していくのか。

答 同学院のあり方検討会では、県全体でものづくり人材の育成機能を強化する必要があるとの提言があった一方、地域における訓練機能の確保が必要との議論があった。今後、他の訓練機関や市町村などとの連携のほか、在職者訓練の機能拡充を検討していく。

問 原子力災害時の避難先確保の現状は。

答 必要数91・6万人分に対し、約9割の82・2万人分を確保した。残り9・4万人分の確保について、県外市町村



県立土浦産業技術専門学院(土浦市)

文教警察委員会

広報について県警察の取り組みは、**防犯対策や犯人検挙の情報などを積極的に発信している**

問 警察からの情報発信は防犯対策などの周知に大きな効果があると考えられる。広報について県警察の取り組み状況は。

答 広報紙や県警公式SNSなどを活用し、防犯対策について広報することで県民の防犯意識の醸成を図っている。また、犯罪の発生を抑制するため、犯人検挙の情報などを積極的に発信している。

問 ボッチャは障害のある人となりが一緒に取り組めるスポーツであり、県でも小学生の競技会の実施などを検討してほしいが、所見は。

答 一部の特別支援学校では交流および共同学習として、



ボッチャの試合を行う生徒の様子

保健福祉医療委員会

臓器移植を所管する組織については、**薬務課を中心に各課の連携を深めて対応していく**

問 命をつなぐ臓器移植を推進するため、臓器移植を所管するに適切な組織を設置し取り組むべきである。組織の再編も必要と考えるが所見は。

答 臓器移植については、医療政策、疾病対策、健康推進など多様な視点が必要である。県が果たす役割を見極めた上で、これまでの経験値がある薬務課を中心に各課の連携を深めて対応していきたい。

問 救急搬送に係る選定療養費の徴収について、今後、どのような体制により検証していくのか。

答 医師を中心とした検証会議を県が主催し、重症度別・



臓器提供意思表示カード

ことば ※【ボッチャ】…重度脳性麻痺者、同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツ。障害の有無にかかわらず取り組むことができる。

開会中の委員会活動

営業戦略農林水産委員会 (長谷川重幸委員長)

【重点審査テーマ】国内外への魅力発信強化と持続可能な農林水産業の実現

県営畑地帯総合整備事業 坂東中央地区 (坂東市)

坂東中央地区は、平成24年度に県営畑地帯総合整備事業に着手し、令和5年度に事業が完了しました。

区画整理や畑地かんがい施設などの整備を契機とした経営拡大により、農業所得の増加や後継者の確保につながった事例について説明を受けました。



事業概要などについて説明を受ける委員

常総市役所 (常総市)

常総市では、圏央道常総インターチェンジ周辺の約45%に農地エリアと都市エリアを形成し、6次産業化を軸としたまちづくりと地域活性化を目指すアグリサイエンスバレー構想に取り組んでおり、構想の概要とこれまでの取り組みについて説明を受けました。



アグリサイエンスバレー構想について説明を受ける委員

総務企画委員会 (川口政弥委員長)

【重点審査テーマ】デジタル行財政改革の推進

高萩市役所 (高萩市)

高萩市では、AIを活用してバスの運行経路とダイヤを最適化して運行する「My Rideのるる」を導入しています。公共交通の課題と導入の経緯、利用促進の取り組みなどについて担当者から説明を受け、実際にアプリを用いてバスを呼び出し、乗車体験をしました。



「My Rideのるる」について説明を受ける委員

十石堀 (北茨城市)

十石堀では、常陸国ロングトレイル事業により令和5年度にハイキングコースが整備されました。実際に十石堀のハイキングコースを歩いて視察するとともに、登山アプリと連携したデジタルスタンプラリーの取り組みについて説明を受けました。



ハイキングコースを歩く委員

土木企業立地推進委員会 (黒部博英委員長)

【重点審査テーマ】災害・危機に強い県づくり

株式会社 AESC 茨城 (茨城町)

株式会社AESC茨城は、車載リチウムイオンバッテリーを製造し、自動車メーカーへ供給する企業です。国内最大級のリチウムイオンバッテリーの生産拠点として、茨城中央工業団地に令和5年8月に竣工、令和6年8月に量産開始した茨城工場内を視察しました。



同社の概要について説明を受ける委員

都市計画道路 中大野中河内線 (水戸市)

水戸市の市街地を東西に連絡する本路線において、現在工事が進められており、水戸市西門町の国道6号との交差点の整備や南側に近接する西門六差路の十字交差化により、渋滞の緩和などが期待されています。現地を視察し、事業概要について説明を受けました。



現地を視察する委員

防災環境産業委員会 (飯田智男委員長)

【重点審査テーマ】本県の産業を支える人材の育成・確保

関彰商事株式会社 (つくば市)

関彰商事株式会社は外国人材採用のため、ベトナムやインドなどで現地大学などと連携したジョブフェアを開催しています。ジョブフェアの開催状況や、採用した社員の就労状況について説明を受けたほか、外国籍社員の方との意見交換を行いました。



同社の取り組みについて説明を受ける委員

ナガエツルノゲイトウの繁茂状況について (稲敷市・河内町)

ナガエツルノゲイトウは生態系や農業などに悪影響を及ぼす恐れがあることから、特定外来生物に指定されています。新利根川上流の河内町、下流の稲敷市にて繁茂状況を視察し、稲敷市役所にて県・市・町などの対応状況などの説明を受けました。



ナガエツルノゲイトウの繁茂状況を視察する委員

文教警察委員会 (金子晃久委員長)

【重点審査テーマ】警察本部関係：巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策の推進
教育庁関係：誰もが輝く学校環境づくりについて

茨城県警察本部 (水戸市)

茨城県警察本部は、交通管制センターなどの見学を通じて警察業務に係る理解の促進に取り組んでいます。警察活動の紹介映像や装備品、SNSに投稿している自転車盗難被害防止に向けた短編漫画などを展示している広報センターを視察しました。



広報センターを視察する委員

県立水戸高等特別支援学校 (水戸市)

県立水戸高等特別支援学校は、平成11年に設立された軽度知的障害を有する生徒のための学校です。社会的・職業的自立を目指し、一人一人の適性に応じた可能性を最大限に伸ばす教育の取り組みなどを視察しました。



授業を視察する委員

保健福祉医療委員会 (水柿一俊委員長)

【重点審査テーマ】県民の命を守るための医療と介護の充実

スポーツ&カルチャーしおかせみなど (ひたちなか市)

「スポーツ&カルチャーしおかせみなど」は、誰でも気軽に地域の方々が生涯にわたってスポーツ・文化活動を楽しみ、健康でいきいきと交流できる連帯感あふれる地域づくりを目指す多世代交流



施設の状況などについて説明を受ける委員

施設で、地域における健康寿命の延伸に貢献しています。施設の担当者から、施設の利用状況や今後の展望について説明を受けるとともに、施設内での活動の様子を視察しました。



施設内での活動を体験する委員

令和7年

各会派基本方針

いばらき自民党



いばらき自民党 議員会長 飯塚 秋男

「納得と共感」で 県政課題に挑む

明けましておめでとうございませう。巳年は脱皮する蛇のイメージから「復活と再生」を意味すると言われそうあってほしいと願うばかりです。しかし、令和6年能登半島地震の被災地から月初めに届く復旧・復興状況は芳しくないことから、新年も被災地の皆様の日も早い日常の復活と再生を祈念しております。

年度予算編成に向けて、令和7年度重要政策大綱を大井川和彦知事に提出しました。地域経済や県民の暮らしを支える100を超える各種団体から挙がったさまざまな県政要望の、県政への反映を求めたものです。

特に、農林水産業への支援や不妊治療への助成、医療体制の整備、災害ボランティアへの支援体制の4項目を緊急最重要政策項目に盛り込んだのが特徴であり、新規項目71件、一部修正132件を含む総項目数は2629件となりました。私どもは、この重要政策大綱を議会活動のバイブルとして、政務調査活動をはじめ、代表質問や一般質問、常任委員会審議を通じて、要望項目の具現化に努めますが、その基本姿勢は、石破茂首相が昨年10月4日の衆参両院での就任後初めての所信表明演説を締めくくった「納得と共感の政治」による地方創生です。

生活者・働く者の 視点で政策実現を

2025年の幕開けを迎え、県民の皆さまにとって素晴らしい一年となります。本年は千支の「巳年」に当たります。巳は再生と変化の象徴であり、その脱皮を通じて新しい自分に生まれ変わる力を持っています。この象徴にあやかり、今年には新しい挑戦や成長の年となるよう前進してまいります。茨城県は、豊かな自然環境と多様な

国民民主党 党団 主 議員 齋藤 英彰 茨城県 代表

公明党 党 議員 高崎 進 茨城県 代表

輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。 輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。 輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

代の急減が見込まれており、増加する単身世帯への対応と併せて、全ての世代を支える社会保障制度の再構築へ、将来を見据えた改革を急がねばなりません。さらには、気候変動に伴い激甚化・頻発化する自然災害から県民の命と暮らしを守る防災・減災対策や、人口減少が進む地方にあっても生活者が安心して暮らし続けられる地域づくりなど、地方議会が担う役割は今まで以上に重要になってまいります。

茨城無所属の会 代表 中山 一生

政治の体質改革 県民が誇れる県政に 県議会が国政政党会派以外の、唯一の正式会派として私たち3人が「茨城無所属の会」を立ち上げて2年が経過しました。

立憲いばらき 代表 設楽 詠美子

いのちを守り育みます 今年巳年、「復活と再生」を連想し強い生命力につながる縁起のいい動物。この一年間も皆さまにお支えいただき、県政を担う一員として心から感謝いたします。

- 1 賃金向上への取り組み
2 オメガニク学校給食の拡大
3 学校で性暴力が発生した際の対応の危機管理マニュアルへの明文化
4 今年具体的な目標は6点です。
5 公平な保健医療の実現と検診率の向上
6 子どもたちへのキャリア教育と夢をかなえるための給付型奨学金制度の充実
7 有機栽培の農作物の生産拡大とオーガニック学校給食の実現と栄養士の手厚い配置
8 多様性(LGBT・外国人・障がい者)を認め合うインクルーシブ茨城の実現
9 市町村を超えた公共交通の充実
10 里山整備と木育の充実
11 チーム地球の一員として、茨城県の輝きを発信し県民の皆さまの「いのちを守り育み」、ともに歩みを進めてまいります。これからも、ご指導よろしくお願いたします。

「決算特別委員会」を開催しました

本委員会(戸井田和之委員長)は、令和6年第3回定例会で付託された令和5年度茨城県一般会計決算などの議案について、部門別審査および総括質疑を行った後、可決および認定しました。

部門別審査では、「病院施設の狭隘化・老朽化に伴う経営への影響」、「有害鳥獣捕獲に対する支援」、「市町村における避難行動要支援者への支援体制」、「新型コロナウイルスの感染状況と5類移行後の受診動向」、「茨城空港の活性化策」、「本社機能移転による成果と立地企業のフォローアップ」、「本県産メロンのブランド化と輸出に向けた取組」、「大学進学率アッププロジェクト事業の進捗状況」、「住宅侵入窃盗等犯罪抑止対策実証実験事業の成果」などの質疑応答が交わされました。

総括質疑では、「当初予算と決算の比較が容易な決算資料の作成」など、部門別審査を踏まえた質疑応答が交わされました。決算関係議案は、第4回定例会開会日の本会議で先議され、早期認定が図られました。



部門別審査の様子

茨城キリスト教大学で出前委員会を開催しました

県議会では、開かれた議会を目指し、議会の活動を身近に感じていただけるよう、県議会議事堂以外の場所でも委員会を開催する「出前委員会」を開催しています。

今回の出前委員会では、保健福祉医療委員会(水柿一俊委員長)の審査の様子を傍聴していただき、委員会の審査後に、委員と茨城キリスト教大学生などとの間で、意見交換を行いました。

【開催結果】

日時 令和6年11月7日(木) 午後2時30分から
場所 茨城キリスト教大学
テーマ 「県民の命を守るための医療と介護の充実」



茨城キリスト教大学における出前委員会の様子

県議会の録画中継をご覧ください

県議会のホームページでは、これまでに開催された各定例会における、知事の提出議案説明、各党派議員の代表質問、一般質問、予算特別委員会質疑などの様子を録画中継でご覧いただくことができます。

議会活動を文字で読むだけでなく、議場における各議員の質問・質疑の様子を映像と音声で見聞きすることで、県政で議論されている問題などを、より身近に感じていただけます。

※こちらから県議会の録画中継をご覧くださいことができます。
<https://ibaraki-pref.stream.fi.co.jp/>



県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。県民の皆さまにより選出された県議会議員がどのようなことを審議しているのか、目の前でご覧いただける身近な機会ですので、ぜひお気軽にお越しください。

なお、本会議の傍聴を希望される方は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できます。

その他、団体での傍聴や常任委員会の傍聴などの詳細については、県議会事務局議事課までお問い合わせください。



本会議場の傍聴席

〈児童や乳幼児をお連れでの傍聴について〉

- ・ 親子席を用意しております。
- ・ 授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には、部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽にお声掛けください。
- ・ 県庁内保育所や議事堂近隣の民間保育所での託児サービスも行っております(託児サービスのご利用には、事前申し込みが必要です)。

お問い合わせ先

(傍聴に関すること) 議会事務局議事課 電話029・301・5634
※県議会の傍聴の詳細は議会ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/sanka/boutyou/htm>
(託児サービスに関すること) 議会事務局総務課 電話029・301・5613
※託児サービスの詳細は議会ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/takuji/>



「茨城県議会モニター」を募集しています

県議会では、県民からの意見聴取や情報収集などを行い、議会活動や広報に反映させることを目的に「茨城県議会モニター」を設置しています。現在、令和7年度茨城県議会モニターを左記のとおり募集しております。ご興味のある方はぜひご応募ください。

- 1 募集人数 10名程度
※応募多数の場合は選考の上、採用となった方のみ令和7年3月末までにご連絡いたします。
 - 2 応募資格 県内に在住(県内企業への通勤者または県内の学校への通学者を含む)しており、県議会の活動に関心がある方
 - 3 任期 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
 - 4 活動内容 年2回程度、議会活動や広報について意見を提出していただきます。
 - 5 謝礼 全ての調査にご協力いただいた方へ謝礼を予定しています。※予算の状況などによって、変更となる可能性があります。
 - 6 応募方法 茨城県議会ホームページに掲載の申込書に必要事項を記入し、郵送・FAX・メールのいずれかでご応募ください。
 - 7 応募締切 令和7年2月7日(金)
- 【議会ホームページ】
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/monitor/index.htm>



「県議会PRコーナー」にお立ち寄りください

議事堂1階には、来庁者の皆さまに議会への関心を高めていただくため、さまざまな情報を展示・発信する「県議会PRコーナー」を設置しております。

ここでは、県議会の歴史や役割、仕組みを分かりやすく紹介するパネルのほか、実際に使用された貴重な資料や記録を展示しております。

また、令和3年11月にはPRコーナーのリニューアルを行い、一新したモニター設備で、県議会PR映像や議員紹介映像、茨城大学の学生などが企画運営する「茨城の魅力を探求し発信する高校生コンテスト(通称「いばらん」)の優秀作品を視聴できるようにしました。

さらに、令和5年11月にはデジタルサイネージを新たに導入し、議会の活動状況を紹介するフォトギャラリーを放映しております。議事堂にお越しの際は、PRコーナーにぜひお立ち寄りください。



議会の活動状況を放映するデジタルサイネージ



県議会PRコーナー



県議会PR映像などが視聴できるモニター設備



資料や記録の展示

「交通政策・物流問題調査特別委員会」の調査結果を報告しました

本委員会（石井邦一委員長）は、令和6年第1回定例会で設置されて以降、「公共交通及び物流に関する諸方策の在り方」について調査・検討を重ね、同年第4回定例会の最終日に執行部への提言を中心とする調査結果を報告しました。

【主な提言の概要】

1 公共交通関係

- バス事業者に対する地域間幹線系統の補助金の満額補助の実現
- 接続関係にある鉄道・バスの運行ダイヤの利用者本位の編成
- 死亡事故が発生するなど構造的に課題のある踏切への安全対策
- 持続可能な水郡線の振興のための県境を越えた連携強化
- 湊線の延伸実現に向けた県としての支援の検討
- DXの視点に立った交通事業者に対する支援の強化
- 自家用有償旅客運送におけるエリアや実施時間帯の適切な設定
- 九州MaaSなどを参考とした、より広域的なワンストップ移動サービスの枠組み構築に向けた検討
- 外国人材の運転手であっても県民が不安なく公共交通を利用できるようにするための対策

- タクシーの運転に必要となる第二種免許制度の抜本的な改正など、今の時代に求められる在り方の検討
- 免許を自主返納した高齢者の目線に立った公共交通の環境整備
- 幼少期からバスの魅力を感じてもらえる取り組みの充実

2 物流関係

- 物流業界における価格転嫁のさらなる円滑化に向けた取り組み
- 地域において再配達削減に向けた消費者のインセンティブを高めるための取り組み
- 建物における配送の上下移動に配慮した環境整備や意識醸成
- 物流における自動運転やドローンの活用に向けた動きの加速化
- モーダルシフトの実現に向けた、関係者による重要性の認識
- 港湾において取扱貨物量を増加させるためのハード面の整備
- 高速道路が通行不能となった場合に備えた代替性の機能強化
- 農業大県である本県農産物の物流を維持するための施策の展開



調査結果の報告を行う石井邦一委員長

※報告書の全文は議会ホームページでご覧いただけます。
https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/report/koutsu_butsunyuhm



議会広報ポスター図案募集の第1回選考結果および第2回募集について

若者をはじめとした県民に分かりやすく参加しやすい県議会の環境づくりのため、令和6年7月より学生・生徒の皆さまから議会広報ポスターの図案を募集しているところですが、同年9月30日の第1回応募締切までに54点の応募がありました。

応募作品については、県議会情報委員会（10月21日開催）において厳正に選考を実施し、入選作品4点を決定いたしました。

議会広報ポスターの図案募集については、第2回応募締切の2月28日まで実施しております。

なお、ポスター図案は第1回および第2回募集の作品の中から8点程度を入選作品として決定し、令和6年第4回定例会以降の図案として採用してまいります。

1 第2回応募締切 令和7年2月28日（金）

2 応募資格

- (1) 県内の大学、高校、専修学校などに通学する学生・生徒
- (2) 県内在住で県外の大学、高校、専修学校などに通学する学生・生徒

※サークルなどの団体での応募も可能

3 募集部門

- (1) デザイン部門
- (2) 写真部門

4 選考方法、賞品

- ・選考は、県議会情報委員会が厳正に行います。
- ・入選作品を制作された個人または団体には、ギフトカード1万円分を贈呈します。

※詳細は、議会ホームページをご確認ください。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/boshu/poster.htm>



第1回選考入選作品

制作者：県立下館第一高等学校 生徒※ (令和7年第2回定例会ポスターに採用予定)	制作者：開智望中等教育学校 5年 岡田 彩起子さん (令和6年第4回定例会ポスターに採用)
制作者：県立笠間高等学校 3年 山本 康太さん (令和7年第3回定例会ポスターに採用予定)	制作者：県立下館第一高等学校 生徒※ (令和7年第1回定例会ポスターに採用予定)

※は本人の希望により氏名非公表

委員会などの新人事

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営の円滑化を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。

委員長	川口 政弥
副委員長	村田 康成
委員	飯塚 秋男
	伊沢 勝徳
	村上 典男
	飯田 智男
	長谷川 重幸
	高崎 進
	齋藤 英彰
	中山 一生

情報委員会

情報委員会は、県議会情報公開条例に基づき、公文書の開示決定などに対する不服申立てや議会広報の充実についての調査などを行う委員会です。

委員長	黒部 博英
副委員長	豊田 茂
委員	高橋 勝則
	金子 晃久
	高橋 直子
	横田 透
	八島 功男
	大足 光司
	ヘイズジョン
	うの のぶこ

監査委員

県民代表の立場から適切な県予算の執行などについて、監査を行います。

石井 邦一
鈴木 将

防災環境産業委員会から県民生活環境部長に対し、「ナガエツルノゲイトウ対策の充実強化」について提言を行いました

特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」は、再生力、拡散力、侵略性が強い南米原産の多年草の水草で、県内では新利根川流域を中心とした河川・湖沼で繁殖していますが、効率的な駆除方法が確立されておらず、生態系への影響や農業被害の発生などが危惧されています。

新利根川流域における繁茂状況や流域市町などで構成される新利根川流域ナガエツルノゲイトウ等対策協議会の取り組みについて、これまで実施した県内調査の結果を踏まえ、本県が取り組むべき施策などについて防災環境産業委員会から県民生活環境部長に提言を行いました。

議会人事

◆議員辞職

令和6年11月17日付で森田悦男議員（古河市選挙区）が退職されました。

◆新議員

令和6年12月15日の茨城県議会議員古河市選挙区補欠選挙において、森田卓歩議員、秋山政明議員が当選され、同日17日付で、森田卓歩議員は営業戦略農林水産委員会の委員に、秋山政明議員は文教警察委員会の委員に選任されました。

永年在職議員表彰

茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は次のとおりです。

令和6年11月29日	11月17日
25年在職	臨時表彰
小川 一成 議員	森田 悦男 議員
川津 隆 議員	
常井 洋治 議員	
西野 一 議員	
村上 典男 議員	
15年在職	

令和7年第1回定例会の会期日程

議会ホームページをご確認ください。